

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。) ※うす黄色のマスは今回掲載分の意見	意見掲載日
長上・積志	10	農業委員会と認定農業者(担い手)を中心とした地域単位の活動ができる組織体制と地域リーダーが必要	R3.1.8
長上・積志	10	地域で話し合える環境を醸成し、活動が無理なく長続きできることが大切だと思う。	R3.1.8
長上・積志	10	担い手が少ないこと(管内に)	R2.12.21
長上・積志	10	経営の拡大希望者が少ない(畑作はない)(水田の入り作が1名)	R2.12.21
長上・積志	10	特に畑(作)地は、遊休、荒地の拡大に繋がる危険	R2.12.21
長上・積志	10	規模拡大希望者が少ないこと、水田、畑作ともに	R2.12.21
長上・積志	10	担い手の視点…集約化して借りる、地代はなし	R2.12.21
長上・積志	10	管外の担い手へのPR…水田、畑作	R2.12.21
長上・積志	10	水田・畑地→担い手が少ない中で、農地の維持管理、リタイアした農家の土地利用をどうするか	R2.12.21
長上・積志	10	管外の担い手へのPR…集約化、大区画化	R2.12.21
長上・積志	10	担い手農家の経営発展に繋がる施策の展開	R2.12.21
長上・積志	10	畑作について、ハウスが多い…露地の土地利用型経営の育成が望まれる	R2.12.21
長上・積志	10	水田について…経営拡大希望者が少ない	R2.12.21
長上・積志	10	長上、畑が多いこと	R2.12.21
長上・積志	10	積志、営農類型が多い、水田の大区画が多い傾向	R2.12.21
長上・積志	10	田んぼ、担い手耕作地の比率が低い(長上14.5%、積志27%)	R2.12.21
長上・積志	10	畑の方が、担い手耕作地が高い(長上17%、積志30%)	R2.12.21
長上・積志	10	後継者、問題なし(アンケート上)	R2.12.21
長上・積志	10	担い手がいる→嬉しい状況である	R2.12.21
長上・積志	10	耕作放棄地が少ない	R2.12.21
長上・積志	10	集約(地域により差があり)→放棄地、タニシの問題(田んぼ作られる状況必要)	R2.12.21
長上・積志	10	田んぼ、小規模の方が多い。将来的に問題かかえる？	R2.12.21
長上・積志	10	将来的なこと→現状より、5~10年先を見込む	R2.12.21
長上・積志	10	思った以上に畑がある、61.9ha(長上)	R2.12.21
長上・積志	10	営農類型が多い(積志)	R2.12.21
長上・積志	10	耕作放棄地が少ない(積志)	R2.12.21
長上・積志	10	畑作の約15%強がだして面積があり比率が高いと思う(積志)	R2.12.21
長上・積志	10	大きそうな田が多いと思った(積志)	R2.12.21
長上・積志	10	(積志)遊休農地に繋がりそうな畑作地域から	R2.12.21
長上・積志	10	(両方)畑の方が、田んぼより担い手が多い	R2.12.21
長上・積志	10	(積志)担い手3名おり、嬉しいと書いてくれたのが嬉しい	R2.12.21
長上・積志	10	放棄地が少ない	R2.12.21
長上・積志	10	農業の支援者がいて、嬉しい	R2.12.21
長上・積志	10	地代(条件が合う事、日照、水利、土 など)	R2.12.21
長上・積志	10	耕作放棄(タニシ)	R2.12.21
長上・積志	10	小面積農地(放棄)	R2.12.21
長上・積志	10	担い手(不足)が少ない	R2.12.21
長上・積志	10	後継者が問題	R2.12.21
長上・積志	10	水稲作は兼業で、小規模農家が多く、経営者の高齢化や後継者不足により、今後急速に耕作放棄地や遊休化が進むと推測される。	R2.12.21
長上・積志	10	水稲の作業受託により大規模に営む農家を訪問し、今後の経営目標や課題などについて調査し、今後の水田流動化を進めるうえでの参考にしたいと思えます	R2.12.21
長上・積志	10	畑の多さを思ったとありますが？(積志)	R2.12.21
長上・積志	10	耕作放棄地が多くなってきている	R2.12.21

長上・積志	10	担い手率が低すぎる	R2.12.21
長上・積志	10	ジャンボタニシが少なくなっている	R2.12.21
長上・積志	10	地代なし	R2.12.21
長上・積志	10	放棄地、タニシ	R2.12.21
長上・積志	10	地代	R2.12.21
長上・積志	10	まず集約それから	R2.12.21
長上・積志	10	思ったほど、放棄土地少ない	R2.12.21
長上・積志	10	同じく個人で作付けされている農家の方が意外と多く驚きました。	R2.12.21
長上・積志	10	集約されている地域もあるが、圃場が点々としている所も多い。	R2.12.21
長上・積志	10	ハウスが多く、畑作をやっている人が少ない。	R2.12.21
長上・積志	10	畑作、希望者が少ない	R2.12.21
長上・積志	10	地図で見るとまとまりも、田より少ない	R2.12.21
長上・積志	10	地代	R2.12.21
長上・積志	10	ゴミが多い	R2.12.21
長上・積志	10	今後耕作放棄地に繋がる地域	R2.12.21
長上・積志	10	集約化→大規模化	R2.12.21
長上・積志	10	スムーズに移行できる仕組み	R2.12.21
長上・積志	10	土地の形状、水利、立地条件の悪さに左右される	R2.12.21
長上・積志	10	思ったほど、地図上、放棄地が少ない。同感(積志地区)	R2.12.21
長上・積志	10	露地畑作、担い手3名あったことは、積志地区として嬉しいこと。内容よりも、露地畑作の土地利用について何を作っているかと、知りたい。露地野菜経営の対策のコツ、結びつければ、嬉しい	R2.12.21
長上・積志	10	放棄地が地図を見ると、意外と少ない	R2.12.21
長上・積志	10	集約が効率的な形で、まとめられると良い	R2.12.21
長上・積志	10	利用権設定の簡素化、除外転用のメリハリ	R2.12.21
長上・積志	10	担い手が少ない、拡大希望も少ない、厳しい	R2.12.21
長上・積志	10	水稲、畑作、担い手にアピール・PRが必要←そのために大規模に集約	R2.12.21
長上・積志	10	個人作付農家が多い→急に耕作依頼が増えてきた。今後、増えていくのでは	R2.12.21
長上・積志	10	保善管理の畑が多い。畑への対策も重要	R2.12.21
長上・積志	10	土壌等が良くない所が放棄になりやすい、担い手が見つからない	R2.12.21